

幼児教育充実に向けての事業

スローガン

足立から、ハープロブレムをなくそう!!
～幼児期から育てる『学びの芽』～

足立区のすべての子どもたちが、たくましく生き抜く力を育めるよう、幼児教育・家庭教育の充実を目指す。
幼保小連携の体制を整え、小学校へ滑らかに移行し、学びの連続性を確保する。

教育委員会

子ども家庭部

【大学との提携】
東京未来大学
東京芸術大学
帝京科学大学
東京電気大学
放送大学

公私立幼稚園・保育園、小学校
実践研究機関「おおよた幼保園」

地 域

家 庭

就学に向けての教育・保育について、教育委員会と子ども家庭部が連携し、足立区のすべての子どもたちに就学前保育・教育の事業提案を企画・調整していく。

事

業

内

容

幼児教育内容の充実

就学前保育・教育の充実

(すくすくガイドの普及・活用)

- ・ 幼児教育研究会の実施
5歳児の保育者向けに、研究会を実施し、指導計画に活かしていく。
- ・ 年齢別リーフレットの作成
0歳～就学前の年齢別概要版を作成し、衛生部の健診時に配布する。
⇒就学前の概要版については、幼稚園・保育園で保護者に配布し、啓発していく。

直接体験の推進

- ・ 公共施設の活用・地域人材の活用

保育士・教職員の資質向上

研修会の充実

- ・ 5歳児研修会の実施
- ・ 既存の研修会の充実
- ・ 大学との連携

交流体験

- 幼児教育と小学校教育の段差解消につながる研修派遣
- ・ 幼稚園教諭⇄保育士
- ・ 幼稚園教諭⇄小学校教諭
- ・ 保育士⇄小学校教諭

幼保小の連携事業

ブロック会議の充実

- ・ 13ブロック調整会議の実施
- ・ 公開授業・公開保育の実施

交流活動・体験活動の充実

- 小学校就学に向けての体験活動を推進する
- ・ 体験給食
- ・ 体験授業
- ・ 学校体験
- ・ 子ども同士、先生同士の交流

幼児教育・家庭教育に係る情報発信及び支援

家庭教育の支援

- ・ 基本的生活習慣の啓発事業
- ・ 保護者向け研修会・体験講座の企画実施⇒親育ちの啓発
- ・ 幼児教育・子育て相談事業の拡充
(幼稚園・保育園の場や子育てサロンの活用)
- ・ すくすくガイドの保護者向けリーフレットの発行・配布

幼稚園教育奨励助成事業

幼児期から学びの芽を育てるため就学前教育機関である私立幼稚園と教育委員会が連携し、小一プロブレムの解消や幼児教育の充実に向けたモデル事業として幼稚園教育奨励助成事業を実施する。

① 保育時間の確保

私立幼稚園での預かり保育の時間を延長し、幼児教育の内容によって幼稚園・保育園を選択できる体制を整える。

② 接続期の幼児教育実践園

教育委員会とモデル園が連携し、接続期における教育内容の充実に向けた取り組みを行う。

【基本的な考え方】

1. 教育委員会との連携による接続期における教育内容の充実に向けた実践園

園内研修の充実、幼保小連携による交流活動の実践、職員の交流体験など

2. 保育時間 7:30~18:30、8:00~18:00

3. 対象年齢 3~5歳児（満3歳児も含む）

4. 受入人数 3歳児（満3歳児も含む） 10名 4歳児 10名 5歳児 10名 計30名

5. 給食 園の状況にあわせて、お弁当の日も可とする。

6. 休園日 園行事などを考慮し、設定する。

7. 特色 幼稚園の良さを活かしながら、長時間の保育を実践する。

8. 助成金 人件費相当分+事業費相当分